



西尾いきものふれあいの里だより

7月号

2023.7.1 発行

さとやま

7月の里といきもの



今年は5月のうちに梅雨入りし、季節外れに接近した台風の影響を受け、この地方でも線状降水帯による豪雨がありました。里でもたくさんの水が流れた様子が確認できました。

7月にはそんな梅雨も明け、稲も大きく育っていきます。この時期の里で見られるいきものをご紹介します。

ネジバナ



ラン科に分類される多年草です。6月下旬ごろからセンターエリアのビオトープ下の池の付近などで、かわいいピンクの花をらせん状につけます。湿った日当たりのよい、背の低い草地を好むので、定期的に草刈りされる、公園の芝生などでもよく見られます。一見蘭ぽくありませんがよく見ると、確かにカトレアなどの蘭の花とつくりと同じであることがわかります。

巻き方は、右向き・左巻き・途中からねじり方が変わるものもあり、全くねじれないものもあるそうです。ねじれた方が、ハナバチが次々と隣の花に行きにくいいため自花受粉を防げるのだと言われています。「もじずり」という別名は、花の付き方が、東北地方の信夫（しのぶ）郡の織物「信夫振摺（もじず）り」のよじれた模様似ているからなのだそうです。

ヒメヤブラン



万灯山山頂付近で見られます。蘭の仲間ではなく、キジカクシ科に分類される多年草です。日当たりのよい草地を好みます。

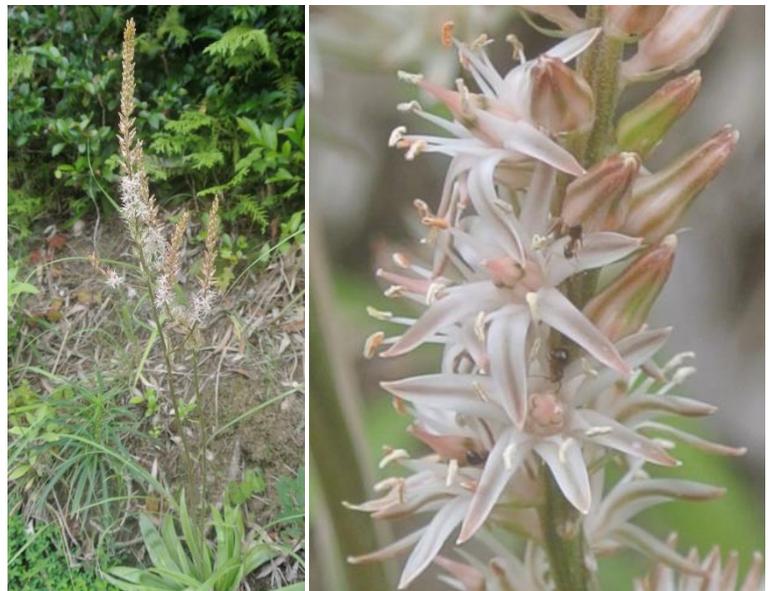
秋頃半日蔭に咲く**ヤブラン**に花が似ていて、花穂が短いことから名が付けました。ヤブランは葉や花の付き方が蘭に似ています。

ノギラン

小草池周辺や、万灯山山頂などで時々みつかります。これも蘭の仲間ではなく、キンコウカ科に分類される多年草で、日当たりのよい草原を好みます。

花の様子が、イネ科植物の種子の先が尖っている「芒（のぎ）」の様子に似ていることから名が付けました。これも葉や花の付き方が蘭に似ています。

その他にも5月にご紹介したソクシンランなど「蘭」と名がついていてもラン科ではない植物があります。



6月はこんな生きものも見られます

菖蒲池奥のあぜや、田んぼエリアの水たまりには、湿ったところを好む**ヌマトラノオ**が群生して花をつけます。花穂の様子を、虎の尾に見立てて名が付けました。

小草池の道などでは、**ヤブマオ**のモールのような花穂が見られます。穂の上の方は雌花、下の方は雄花がつきます。昔は、この仲間の植物の繊維を紡いだ糸で、布を織っていたそうです。



田の水の上には、**ウキクサ**に交じって、**イチヨウウキゴケ**が見られます。ウキクサはれっきとした被子植物で、花卉のない小さな花をつけ、種子もできます。しかしほとんどは、緑の葉のような葉状体が増えることで繁殖します。

イチヨウの葉に形が似ているイチヨウウキゴケは、コケ植物で土の上でも育つそうです。世界中に分布していますが、最近では農薬使用などであまり見られなくなりました。



ウキクサ



イチヨウウキゴケ



ミョウガ(食べる部分)



ミョウガ

(花)



ヤブミョウガ



薬味として使われる**ミョウガ**、綿の畑の横や、万灯山への道で見られます。食べる部分は地下茎から出た花芽で、そのまま育つと花が咲きます。

トンボの里や万灯山エリアでは**ヤブミョウガ**の花が咲きます。ミョウガはショウガ科ですが、ヤブミョウガはツユクサ科です。葉が似ているので名が付けました。花は全然違いますね。



(花)

夏になると、昆虫たちも種類や数が増えます。**オニヤンマ**は、日本最大のトンボです。普段は縄張りをパトロールしていますが、ときに付近の木の枝などに垂直にとまって休んでいることがあります。



オニヤンマ

クロアゲハは、やや暗い場所をふわふわ飛びます。この蝶も木陰で休んでいる場面に遭遇することがあります。

コナラの木などの樹液には、甲虫を中心に様々な虫たちが集まってきます。樹液が発酵する甘酸っぱいにおいをたよりに探してみましょう。

田んぼエリアの水路には、県の天然記念物であるヒメタイコウチが見つかります。飛ぶことができないため、生息域が拡大しにくいので、農薬の使用や環境変化の影響で、数が減っている貴重な昆虫です。



クロアゲハ



樹液に集まる虫



ヒメタイコウチ

こんないきものを探して里を散策してみませんか。ただし里は採集が禁止されています。「とる」のは写真だけにしましょう。

6月の行事紹介



草花や葉っぱを使って親子で楽しく遊ぶ講座を6月4日(日)に開催しました。最初に参加者全員で里山に草花などを採取に行き、講師から自然や植物などの特性を教えてくださいました。採ってきた草花などでお雛様、手裏剣、笛、花冠などやクスのツルを縄跳びの綱にし、子ども皆で飛びました。椿の葉を丸めて吹くと大きな音でブーブーと菖蒲の葉を切って横笛にして吸うとピーピーと小鳥の鳴き声のような音が出ました。短い時間でたくさん作り、遊び、楽しい思い出となりました。

7月の行事予定

23日(日)	梅雨時のキノコたちを観察しよう	20名	AM9:30~11:30	石川まゆみ
--------	-----------------	-----	--------------	-------

内容 ~ 梅雨時は、キノコがたくさん生え、絶好の観察タイミングです。キノコの先生と一緒に里山を散策し、梅雨時だからこそ見られるキノコを探して観察してみよう。

30日(日)	水辺の生きものを探そう	30名	AM9:30~11:30	神本 晃
--------	-------------	-----	--------------	------

内容 ~ 里山を流れる小川は水温も低く、中流域の矢作川水系には見られない生きものがすんでいます。そんな里山の生きものを探してみよう。

8月の行事予定

6日(日)	夏休み昆虫教室	30名	AM9:30~11:30	山口 信夫
-------	---------	-----	--------------	-------

内容 ~ カブトムシやクワガタなどの昆虫の探し方やトンボやアゲハチョウなど実際にタモを使って採取し生態などを詳しく観察します。

20日(日)	親子で作ろう！自然素材工作	20名	AM9:30~11:30	当園職員
--------	---------------	-----	--------------	------

内容 ~ 里山の「小枝」や「木の実」などの自然素材を使い、親子で木のぬくもりを感じながら、恐竜や昆虫など、きっと夏休みの工作にもピッタリな作品を楽しく手作りしてみませんか？

- ◇ **参加受付**は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその同居家族までとします。なお、申込者が**4名以下**の場合は開講しません。
- ◇ **参加申込者**は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ **当日の天候**により、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、**参加費は無料**ですが、講座により**材料費は実費**を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ **各講座の詳細な内容**については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課